

参 考 資 料

- 1 都市交通審議会委員名簿
- 2 高速鉄道網小委員会委員名簿
- 3 都市交通審議会開催年月日一覧表
- 4 諮問才 2 号の審議経過概略

1 都市交通審議会委員名簿(50音順)

学識経験者

愛川重義	読売新聞社論説委員
足立正	東京商工会議所会頭
○飯沼一省	都市計画協会会長
井口竹次郎	大阪瓦斯株式会社社長
大蔵公望	首都交通対策審議会副会長
太田利三郎	日本開発銀行総裁
大槻信治	経済学博士
片岡譚郎	運輸調査局理事長
佐々部晩穂	名古屋商工会議所会頭
◎島田孝一	早稲田大学教授
鈴木清秀	私鉄経営者協会会長
十河信二	日本国有鉄道総裁
橋善守	毎日新聞社論説委員長
根津嘉一郎	東武鉄道株式会社社長
挾間茂	日本住宅公団総裁
平井喜久松	復興建設技術協会常務理事
藤井真透	道路審議会委員
森恭三	朝日新聞社論説委員
山脇秀輔	山脇短期大学学長

関係行政機関

朝 田 静 夫	運輸事務次官
東 龍太郎	東京都知事
石 原 周 夫	大蔵事務次官
柏 村 信 雄	警察庁長官
金 子 源一郎	首都圏整備委員会委員
桑 原 幹 根	愛知県知事
小 出 栄 一	経済企画事務次官
小 林 与三次	自治事務次官
佐 藤 義 詮	大阪府知事
柴 田 達 夫	建設事務次官

(注) 1 ◎は会長、○は会長代理である。

2 委員の異動は次の通りである。

昭和36年6月14日 石田正退任、石原周夫就任

〃 7月 4日 山内公猷退任、朝田静夫就任

〃 9月15日 池松文雄、杉道助、高橋雄豹退任

〃 9月25日 蠟山政道退任

〃 9月26日 愛川重義、橘善守就任

〃 11月29日 柴田達夫退任、山本三郎就任

昭和37年1月19日 平山復二郎逝去

〃 3月 1日 平井喜久松就任

〃 3月29日 井口竹次郎就任

2 高速鉄道網小委員会委員名簿（50音順）

東	龍太郎	東京都知事
○飯	沼 一 省	都市計画協会会長
大	蔵 公 望	首都交通対策審議会副会長
大	槻 信 治	経済学博士
金	子 源一郎	首都圏整備委員会委員
◎島	田 孝 一	早稲田大学教授
鈴	木 清 秀	私鉄経営者協会会長
十	河 信 二	日本国有鉄道総裁
挾	間 茂	日本住宅公団総裁
平	井 喜久松	復興建設技術協会常務理事
藤	井 真 透	道路審議会委員
山	脇 秀 輔	山脇短期大学学長

(注) 1. ◎は小委員長、○は小委員長代理である。

2 小委員の異動は次の通りである。

昭和37年1月19日 平山復二郎逝去

” 3月1日 平井喜久松就任

3 都市交通審議会開催年月日一覧表

(諮問才 2 号関係)

会 議 名	開 催 年 月 日
才 2 5 回都市交通審議会	昭和 3 5 年 9 月 / 9 日
才 2 6 回 "	" 1 0 月 / 1 0 日
才 2 7 回 "	" 1 1 月 4 日
才 2 8 回 "	" 1 1 月 2 4 日
才 2 9 回 "	" 1 2 月 7 日
才 3 0 回 "	" 1 2 月 / 4 日
才 3 1 回 "	昭和 3 6 年 2 月 / 4 日
才 3 2 回 "	" 3 月 / 7 日
才 1 回高速鉄道網小委員会	" 4 月 / 4 日
才 2 回 "	" 4 月 2 4 日
才 3 回 "	" 6 月 8 日
才 4 回 "	" 6 月 2 2 日
才 5 回 "	" 1 0 月 7 日
才 3 3 回都市交通審議会	" 1 0 月 2 1 日
才 6 回高速鉄道網小委員会	昭和 3 7 年 3 月 / 1 日
才 7 回 "	" 3 月 2 7 日
才 8 回 "	" 4 月 / 7 日
才 3 4 回都市交通審議会	" 6 月 8 日

4 諮問第2号の審議経過概略

オ25回都市交通審議会 運輸大臣から諮問オ2号が出され、その諮問理由の説明があり、岡本幹事から補足説明があつた。

オ26回都市交通審議会 小田幹事（首都圏整備委員会事務局計画オ二部長）から首都圏整備計画について、東京都総務局統計部長から東京都の人口の推定についての説明を聴取した。

オ27回都市交通審議会 帝都高速度交通営団及び京浜急行電鉄から説明を聴取した。

オ28回都市交通審議会 東京都交通局、東京急行電鉄及び小田急電鉄から説明を聴取した。

オ29回都市交通審議会 京王帝都電鉄、西武鉄道及び京成電鉄から説明を聴取した。

オ30回都市交通審議会 東武鉄道及び日本国有鉄道から説明を聴取した。

オ31回都市交通審議会 事務局から前回までに各事業者から聴取した各線の輸送実績、今後の輸送需要の見通し、輸送力の増強計画等に基づいて、区間別通過人員推定資料と輸送力増強計画資料とを提出し、さらに地下高速鉄道の都市計画・附帯路線について説明を聴取した。

オ32回都市交通審議会 小田幹事から首都圏整備計画と

の関係について、石井幹事（運輸省鉄道監督局民営鉄道部長）から交通流動量についてそれぞれ説明を聴取した。その結果、地下高速鉄道の路線を追加改訂することとし、このため高速鉄道網小委員会の設置を決めて、これに具体的な路線網の審議を行なわせることとした。

オ 1 回高速鉄道網小委員会 石井幹事から既定計画路線の工事状況等について説明を聴取し、路線網の再検討に当つて留意すべき事項について審議した。ついで山田幹事（東京都首都整備局長）から東京都の道路計画について説明を聴取した。

オ 2 回高速鉄道網小委員会 路線網の再検討に当つて留意すべき事項を討議し、おおむね次のように了承した。

1. 既設線を含めて各路線にかかる輸送需要が、輸送力に応じて合理的に配分されるよう考慮する。
2. 住宅地域から都心へ、乗換なく、短時間で到達できるよう考慮する。
3. 既設線を含めて路線相互の連絡を便利にし、都区内の主要箇所へは高速鉄道で到達できるよう考慮する。
4. 副都心の育成等都市の整備に関する諸計画との関連を考慮する。
5. なるべく路面交通需要を吸収して、路面交通の混雑を緩和するよう考慮する。
6. 路線を選定するに当つては、建設経費を節減するよう考慮する。

7. 昭和50年を目標とするが、さらに将来の輸送情勢の変化に弾力をもたせるよう考慮する。
- オ 3 回高速鉄道網小委員会 事務局から路線網改訂案が提示され路線網の審議が行なわれた。
- オ 4 回高速鉄道網小委員会 引き続き路線網について審議し、東京都から都市計画との関係について考慮するためしばらく検討の時間がほしいとの発言があつた。
- オ 5 回高速鉄道網小委員会 路線網に対し東京都から都市計画の見地からの意見が述べられ、これについて審議を行なつた。
- オ 3 3 回都市交通審議会 委員の交代に伴い会長の改選などを行ない、従来までの審議状況について事務局から報告した。
- オ 6 回高速鉄道網小委員会 事務局が都市計画側の事務局と折衝した経緯及びそれに基づく改訂事務局案の説明を聴取し、これについて審議を行なつた。
- オ 7 回高速鉄道網小委員会 事務局案について技術的意見を専門家から聴取した。
- オ 8 回高速鉄道網小委員会 従来の小委員会での意見をまとめて、事務局から最終案を提出し、これについて審議した後、若干の字句の修正を事務局に一任して原案どおり決定した。
- オ 3 4 回都市交通審議会 高速鉄道網小委員長から小委員会での審議経過及び小委員会案についての説明があり、

路線網を小委員会案のとおり決定し、ついで直ちに事務局の起草した答申案を審議し、これを決定して会長から運輸大臣に対し答申した。